

瀬戸市国民健康保険データヘルス計画(第2期計画)
瀬戸市国民健康保険特定健診等実施計画(第3期計画)

概要版

平成 30 年 3 月

瀬戸市

目次

瀬戸市国民健康保険データヘルス計画（第2期計画）

1	計画の基本的事項	
1-1	計画の目的	1
1-2	計画の位置づけ	1
1-3	計画の期間	1
2	瀬戸市の概要と瀬戸市国民健康保険の状況	
2-1	人口と被保険者数	1
2-2	医療費の概況	2
3	特定健康診査・特定保健指導と医療の状況	
3-1	受診率等の状況	2
3-2	特定健康診査結果からみえる傾向	2
3-3	年齢階級別疾病の状況	4
3-4	医療費の状況	4
4	健康課題と対策の方向性	6

瀬戸市国民健康保険特定健康診査等実施計画（第3期計画）

1	第2期計画の実績	
1-1	特定健康診査の実績	7
1-2	特定保健指導の実績	8
2	第3期計画の目標と取り組み	
2-1	特定健康診査の受診率・特定保健指導の実施率の目標	9
2-2	事業推進のための取り組み	9

瀬戸市国民健康保険データヘルス計画(第2期計画)

1 計画の基本的事項

1-1 計画の目的

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、“国民の健康寿命の延伸”を重要な柱とし、「全ての健康保健組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされ、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進することとされました。

こうした背景を踏まえ、瀬戸市においても、健康・医療情報に基づき課題を明確にしたうえでPDCAサイクルに沿った効果的な保健事業を実施するために「瀬戸市国民健康保険データヘルス計画(第1期計画)」を平成28年3月に策定しました。第1期計画の期間終了に伴い、第1期計画を振り返り、新たな保有データを活用しながら、健康課題の対策と方向性を示した「瀬戸市国民健康保険データヘルス計画(第2期計画)」を策定し、保健事業の継続・充実を図ることで、引き続き瀬戸市国民健康保険被保険者(以下「被保険者」という。)の健康維持増進を図ります。

1-2 計画の位置づけ

この計画は、「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21【第2次】)」に示された基本方針及び「第6次瀬戸市総合計画」等を踏まえるとともに、「いきいき瀬戸21健康日本21瀬戸市計画」等との整合を保ち、連携を図ります。

1-3 計画の期間

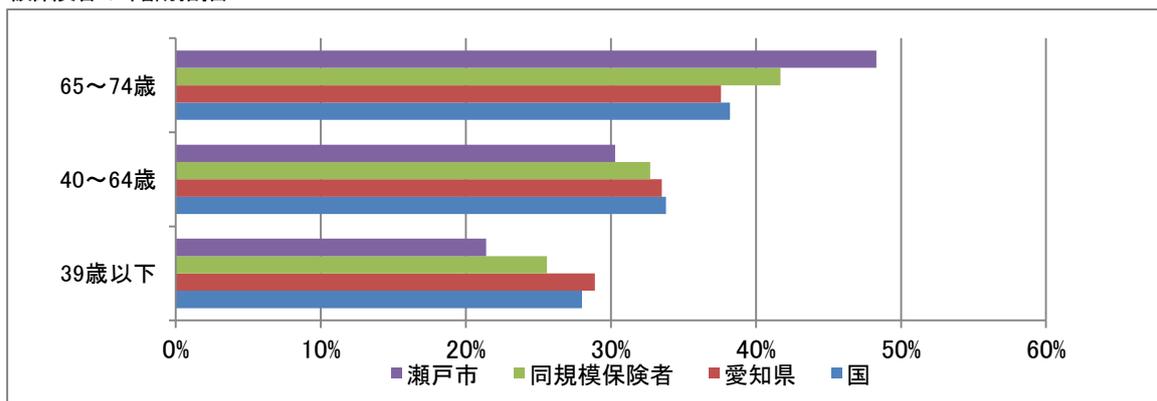
計画の期間は、平成30年度から平成35年度までの6年間とし、瀬戸市国民健康保険特定健康診査等実施計画(第3期計画)と一体的に連動して運用を行います。

2 瀬戸市の概要と瀬戸市国民健康保険の状況

2-1 人口と被保険者数

瀬戸市の人口は減少傾向にあり、今後もさらに減少していくことが見込まれます。一方、65歳以上の割合は全国平均よりも高く、65歳以上の人口は今後も増加する見込みであり、超高齢社会はさらに進展していきます。被保険者数は市の人口以上に減少幅が大きく、65歳以上の割合も著しく高い状態が続いています。

被保険者の年齢別割合



2-2 医療費の概況

一人当たりの医療費は、県内他市と比較して高く、増加傾向は続いています。

瀬戸市国民健康保険1人当たり医療費等データ(平成28年3月～平成29年2月診療分)

保険者		1人当たり費用額:一般				
		入院	入院外	歯科	調剤	入院外+調剤
瀬戸市	費用(円)	113,563	137,581	28,408	64,850	202,431
	市平均差額	11,736	12,843	1,644	9,947	22,790
	38市偏差値	63.14	66.10	59.14	59.31	66.10
	38市順位	5	3	8	5	3
市計		101,827	124,738	26,764	54,903	179,641

3 特定健康診査・特定保健指導と医療の状況

3-1 受診率等の状況

特定健康診査受診率は県平均より高い一方で、若年層や男性の受診率は低い現状にあります。特定保健指導では、動機づけ支援の終了率が年々低下していること、積極的支援の終了率が低い傾向が続いています。

3-2 特定健康診査結果からみえる傾向

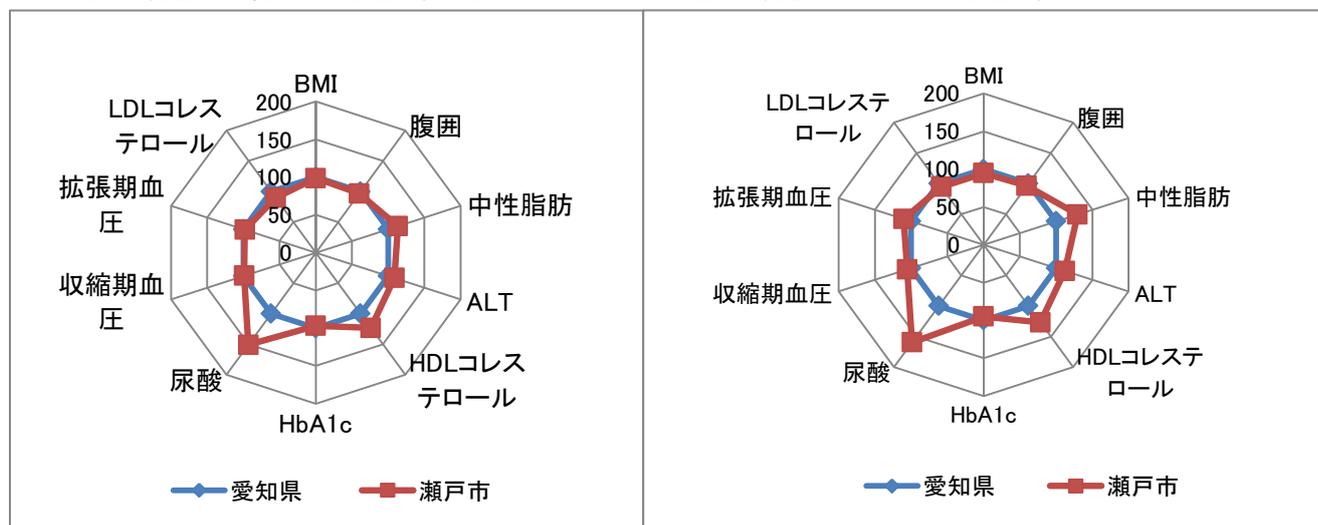
健診結果から見える特徴としては、男性・女性ともに中性脂肪が高い、ALT（GOT）が高い、HDLコレステロールが低い、尿酸が高い傾向がみられます。

平成25年度の全国を100（基準）として経年変化をみた全国標準化比でも明らかな特性としてみることが出来ます。

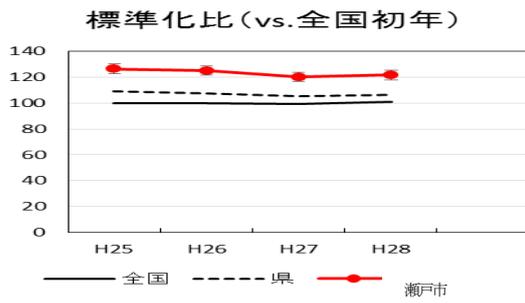
健診結果の有所見の重複割合は、県や国と比べて、血圧と脂質を併せ持つ割合が高くなっています。1人で3つの所見（血糖・血圧・脂質）を重複している割合も高く、年々増加しています。

健診有所見者状況 男性 年齢調整 県対比

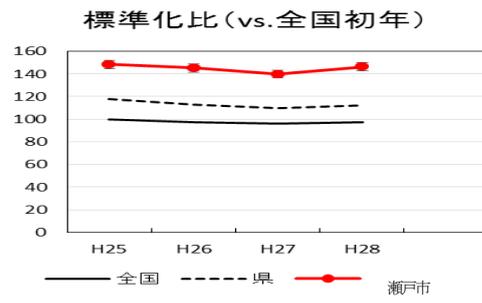
健診有所見者状況 女性 年齢調整 県対比



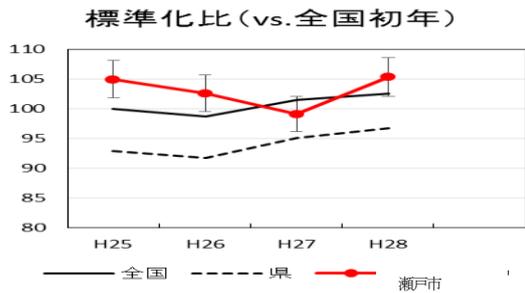
健診有所見者状況(中性脂肪 150 以上男性・年齢調整)



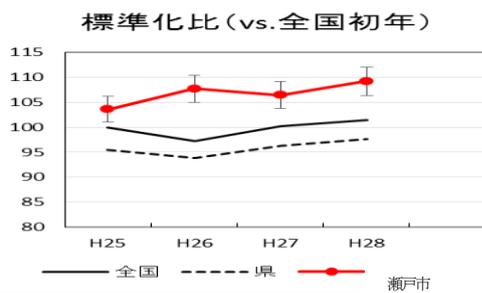
健診有所見者状況(中性脂肪 150 以上女性・年齢調整)



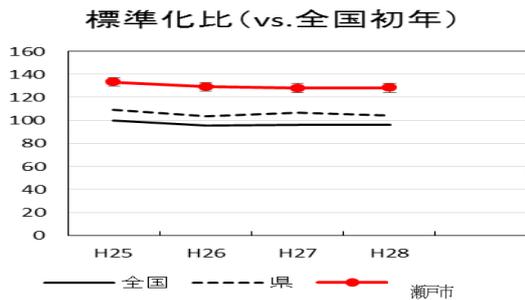
健診有所見者状況(ALT31 以上男性・年齢調整)



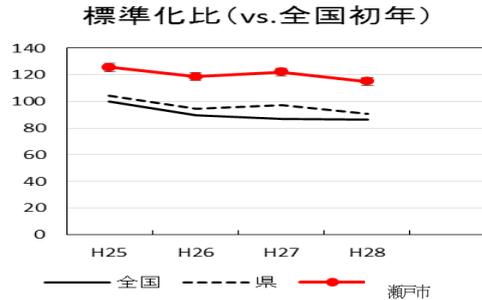
健診有所見者状況(ALT31 以上女性・年齢調整)



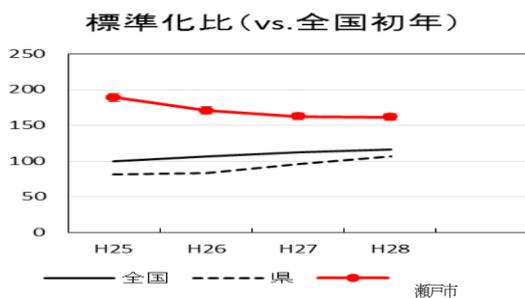
健診有所見者状況(HDL-C 40 未満男性・年齢調整)



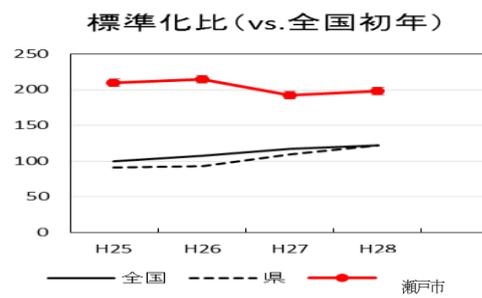
健診有所見者状況(HDL-C 40 未満女性・年齢調整)



健診有所見者状況(尿酸 7.0 以上男性・年齢調整)



健診有所見者状況(尿酸 7.0 以上女性・年齢調整)

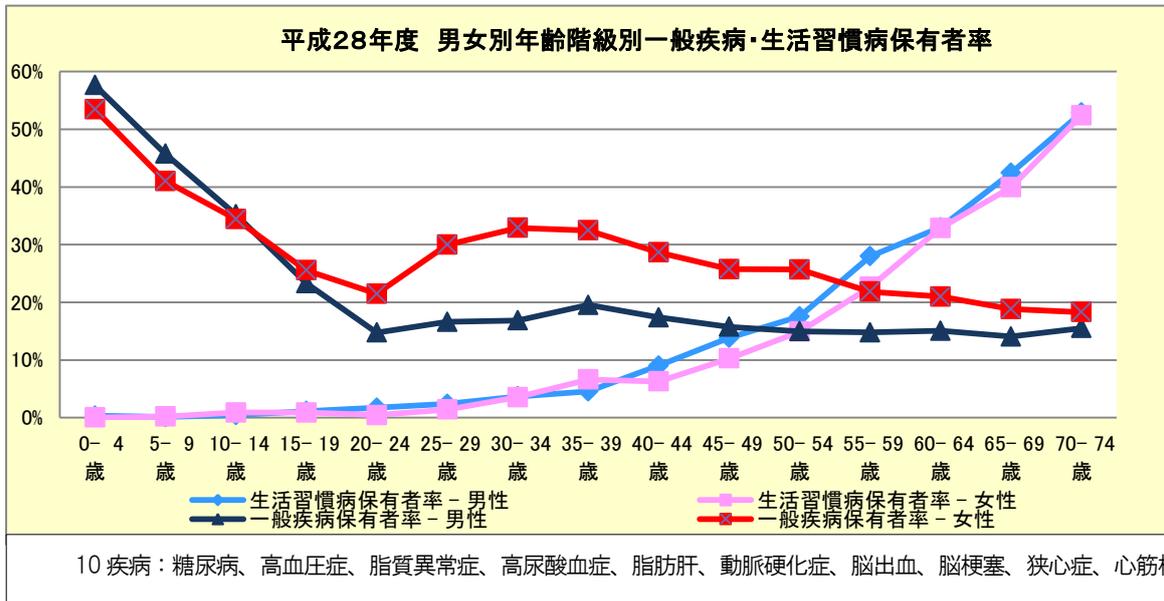


健診結果有所見の重複割合

	瀬戸市			愛知県			国		
	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
血糖・脂質	0.8%	0.9	1.1	1.0%	1.0	1.0	1.0%	0.9	1.0
血糖・血圧	1.9%	2.0	1.7	2.5%	2.6	2.4	2.6%	2.6	2.6
血圧・脂質	9.7%	9.4	9.7	8.8%	8.9	9.2	8.2%	8.2	8.4
血糖・血圧・脂質	6.1%	6.4	6.5	5.6%	5.7	5.7	4.8%	5.0	5.2

3-3 年齢階級別疾病の状況

一般疾病と生活習慣病を男女別、年齢階級別にみると、生活習慣病保有者率は30代から増加していきます。また、この年代を経年で比較すると生活習慣病保有者率は増加傾向にあります。



3-4 医療費の状況

総医療点数（医療費）は、県平均より全体的に高い傾向にあります。入院・入院外ともに総医療点数が上位で、かつ県平均と比較して高い疾患は「新生物」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「循環器系の疾患」となっています。

入院外の全疾病医療費を標準化医療費（年齢調整した医療費）でみると、県、同規模、国と比較して高い状態であり、その内訳は「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」が高い割合を占めています。

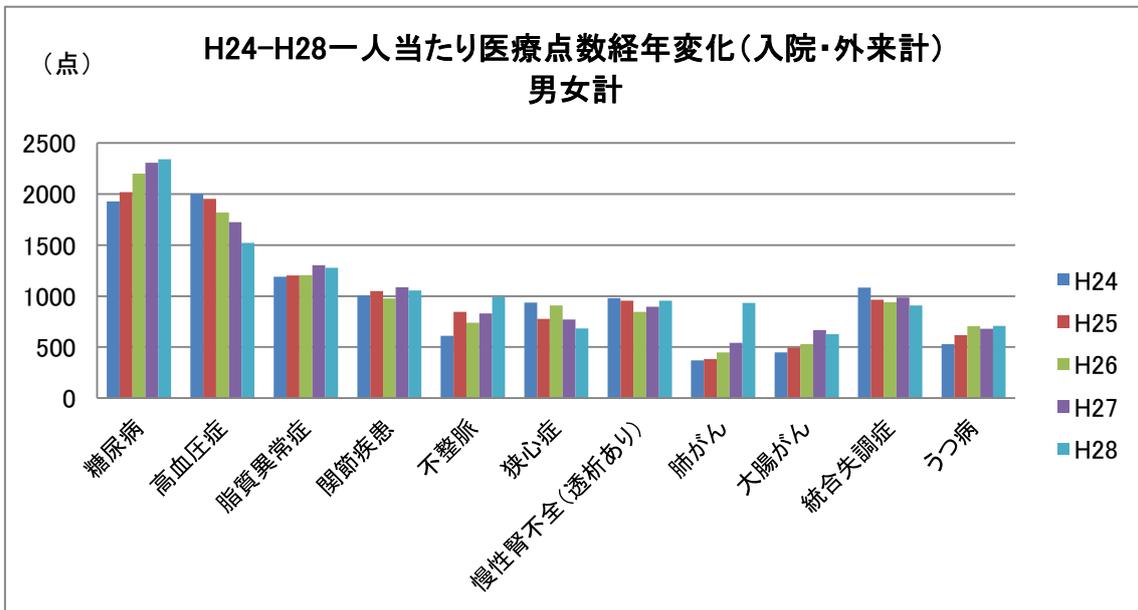
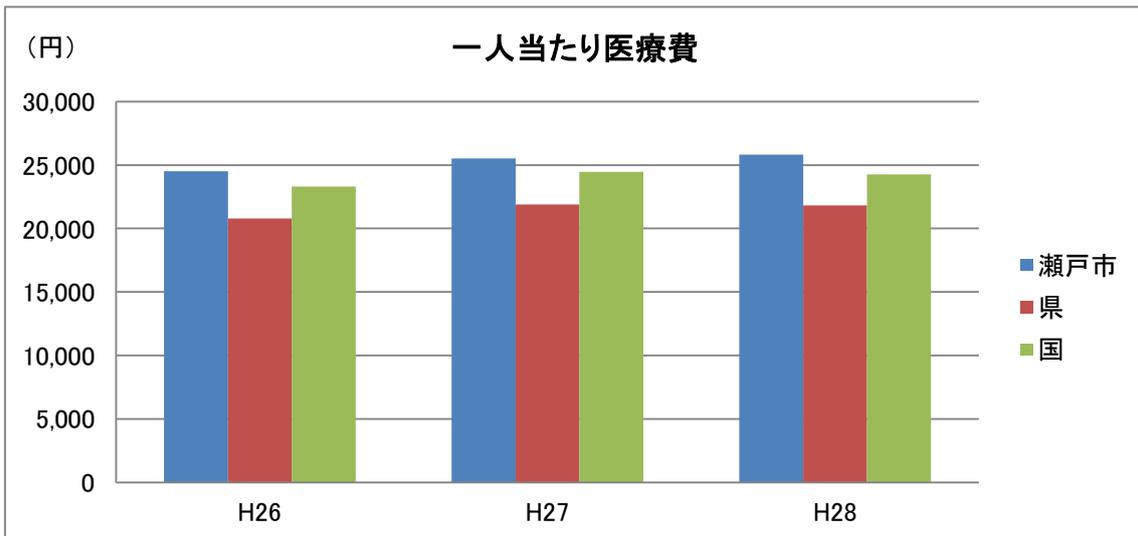
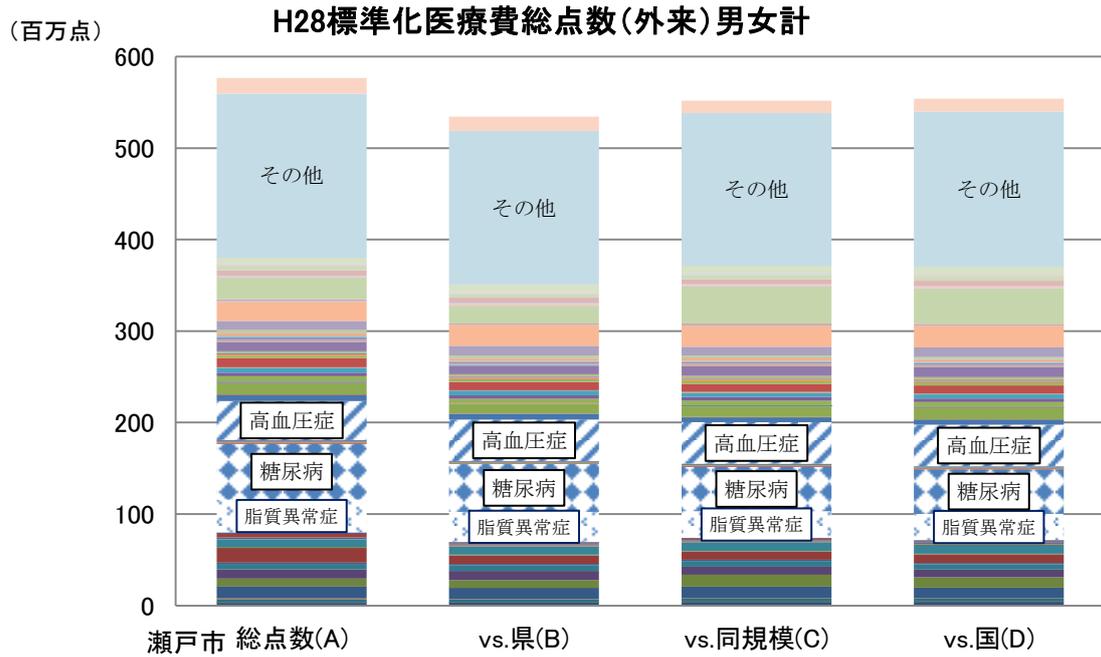
一人当たり医療費の過去3年間の推移をみると、国や県の水準より高く、増加傾向は続いており、疾病の中でも糖尿病の増加が著しくなっています。

平成28年度 入院 大分類別総医療点数

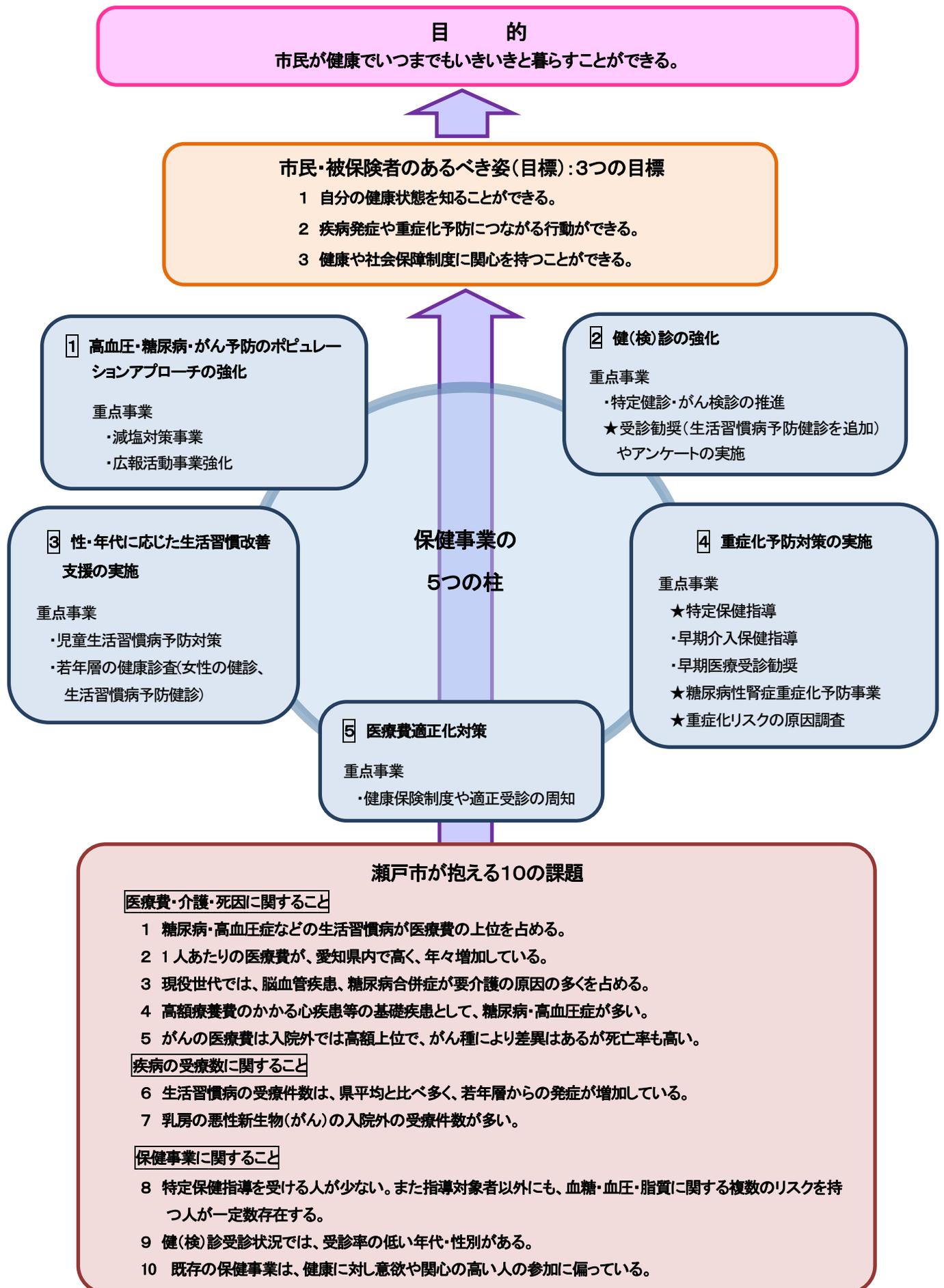
大分類	瀬戸市総点数	県平均総点数	県との比
02 新生物	77,911,346	66,809,693	116.6%
04 内分泌、栄養及び代謝疾患	5,791,967	5,484,541	105.6%
09 循環器系の疾患	69,055,789	62,413,188	110.6%
その他の疾患	161,889,599	166,522,167	—
総計	314,648,701	301,229,589	104.5%

平成28年度 入院外 大分類別総医療点数

大分類	瀬戸市総点数	県平均総点数	県との比
02 新生物	73,336,042	60,525,521	121.2%
04 内分泌、栄養及び代謝疾患	109,640,041	90,094,311	121.7%
09 循環器系の疾患	81,484,757	75,751,591	107.6%
その他の疾患	303,467,281	309,431,878	—
総計	567,928,121	535,803,301	106.0%



4 健康課題と対策の方向性



瀬戸市が抱える10の課題

医療費・介護・死因に関すること

- 1 糖尿病・高血圧症などの生活習慣病が医療費の上位を占める。
- 2 1人あたりの医療費が、愛知県内で高く、年々増加している。
- 3 現役世代では、脳血管疾患、糖尿病合併症が要介護の原因の多くを占める。
- 4 高額療養費のかかる心疾患等の基礎疾患として、糖尿病・高血圧症が多い。
- 5 がんの医療費は入院外では高額上位で、がん種により差異はあるが死亡率も高い。

疾病の受療数に関すること

- 6 生活習慣病の受療件数は、県平均と比べ多く、若年層からの発症が増加している。
- 7 乳房の悪性新生物(がん)の入院外の受療件数が多い。

保健事業に関すること

- 8 特定保健指導を受ける人が少ない。また指導対象者以外にも、血糖・血圧・脂質に関する複数のリスクを持つ人が一定数存在する。
- 9 健(検)診受診状況では、受診率の低い年代・性別がある。
- 10 既存の保健事業は、健康に対し意欲や関心の高い人の参加に偏っている。

瀬戸市国民健康保険特定健康診査等実施計画(第3期計画)

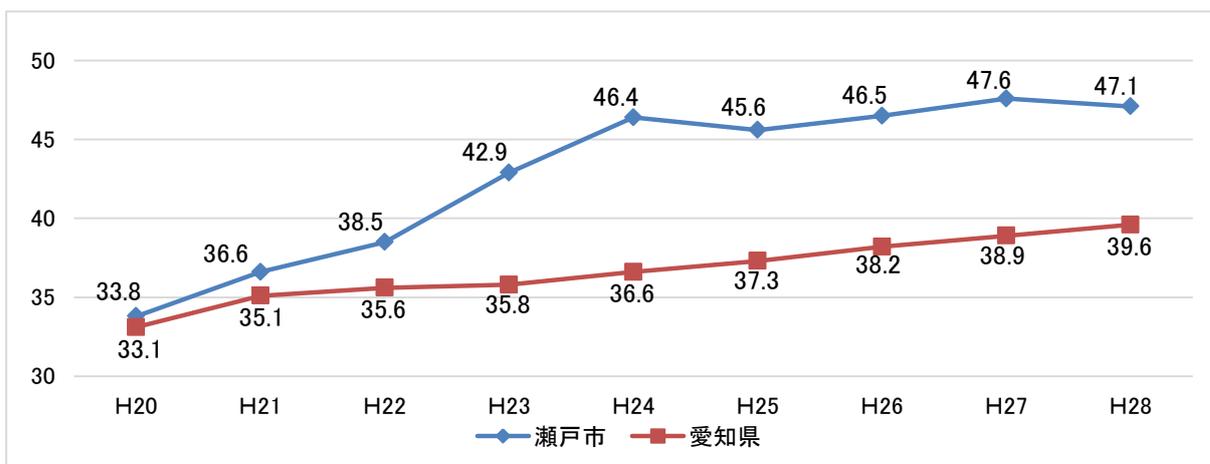
1 第2期計画の実績

1-1 特定健康診査の実績

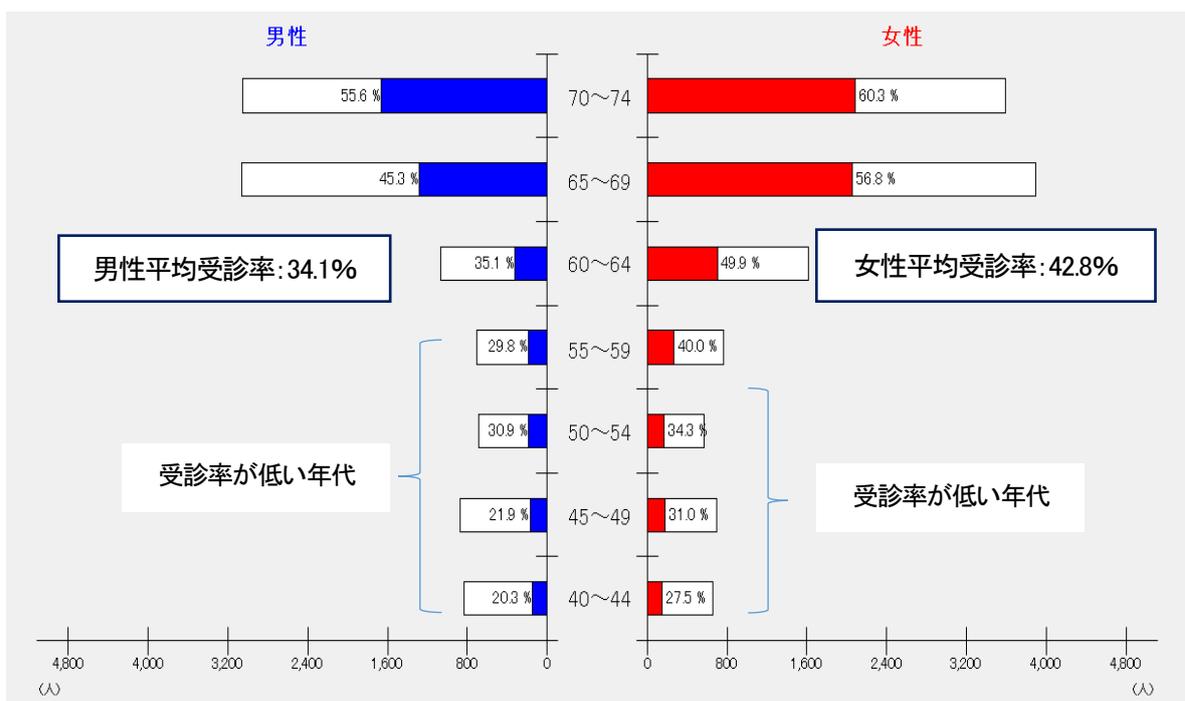
受診率は、平成24年度以降45%以上を維持しており、愛知県の平均を大きく上回り、県内でも高い受診率となっています。

平成28年度特定健康診査受診者を年代や性別でみると、最も受診率が高いのは70～74歳の女性です。女性は男性より受診率が高い傾向にあり、最も受診率が低いのは40～44歳の男性です。65歳未満の受診率が低く、特に男性の受診率が低くなっています。

特定健康診査受診率推移



平成28年度 性・年代別特定健康診査受診状況

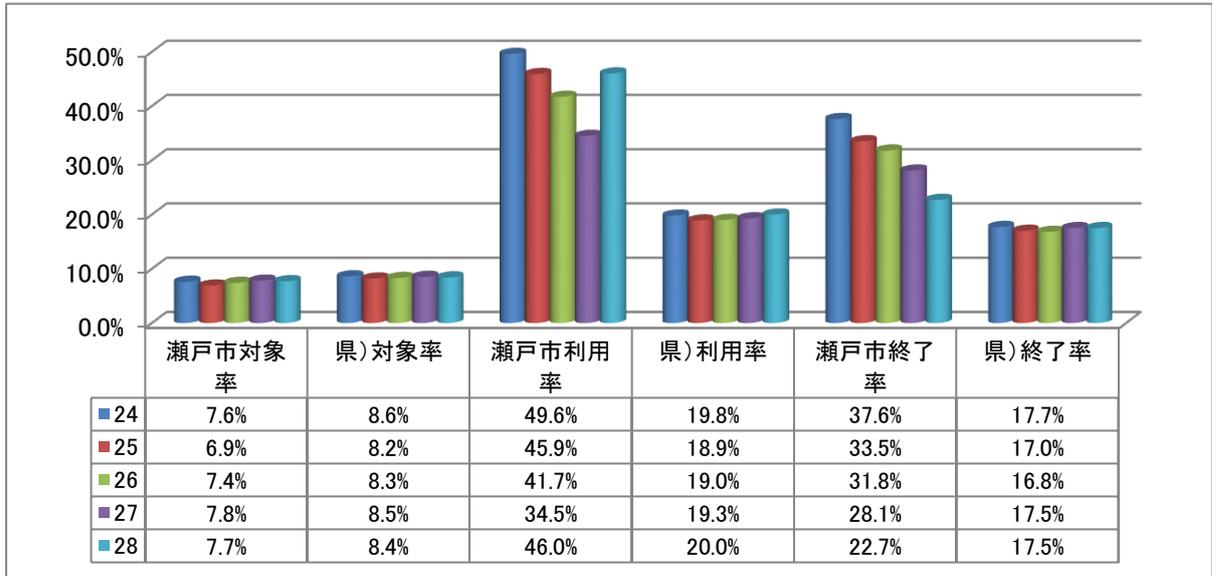


1-2 特定保健指導の実績

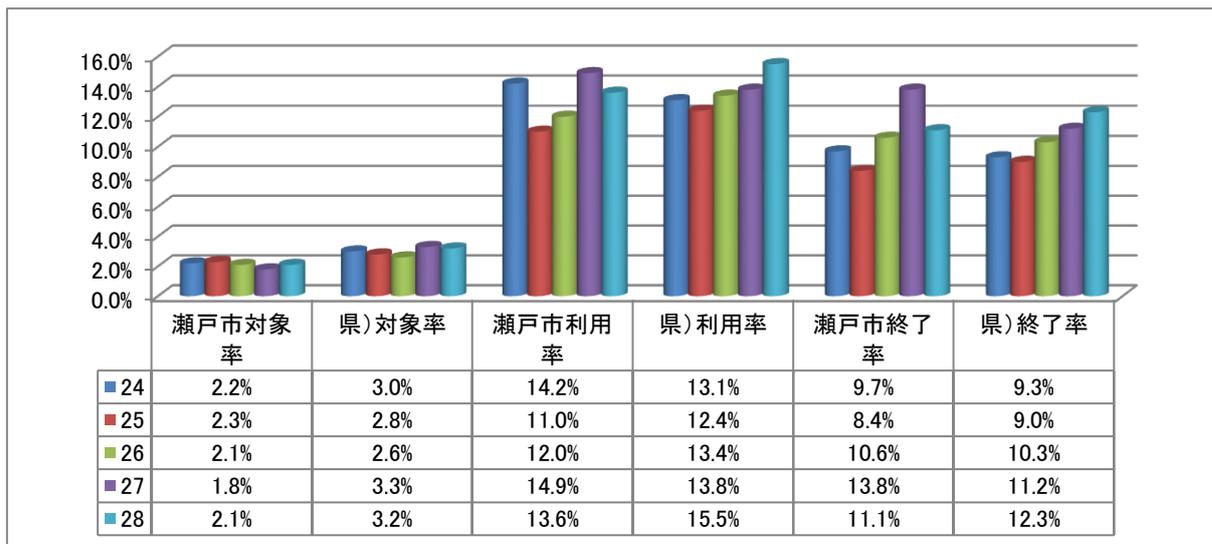
特定保健指導動機づけ支援は、特定健康診査を受診した医療機関で結果説明時に行う方法で実施しており、結果説明を受けながら改善に向けての目標設定ができることから、県と比較し高い利用率となっています。平成 24 年度から減少傾向で推移していましたが、平成 28 年度に増加し持ち直した状況です。

特定保健指導積極的支援は、教室型で半年間の講座を開催しています。利用率は県と同等で横ばいの状況となっています。

特定保健指導の過去 5 年間の推移 動機づけ支援



特定保健指導の過去 5 年間の推移 積極的支援



2 第3期計画の目標と取り組み

2-1 特定健康診査及び特定保健指導の実施率の目標値

平成29年8月に厚生労働省から出された特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施を図るための基本的な指針の一部改正について及び瀬戸市における実績を基に、目標値を下記のとおりに設定します。

	参考	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
特定健康診査の実施率 (受診率)	28年度 47.1%	50%	52%	54%	56%	58%	60%
特定保健指導の実施率 (終了率)	28年度 20.3%	26%	32%	39%	46%	53%	60%

2-2 事業推進のための取り組み

目標達成に向け、第2期計画までの課題等を踏まえ、特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率向上を図るため次の取り組みを行います。

特定健康診査	特定保健指導
<ul style="list-style-type: none"> ○実施医療機関との連携 ○特定健康診査等未受診者への対策の継続 ○40歳代・50歳代への受診勧奨の強化 ○受診勧奨はがき等現行の方法を評価し継続 ○他健(検)診(がん検診等)や他の保険者(協会けんぽ等)との連携 ○新規受診者獲得に向けての国保新規加入者への受診券送付 ○若い世代に向けて生活習慣病予防についての知識の普及 ○他健診受診者に対し結果提供依頼の実施 ○せと健康マイレージ事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○実施医療機関及び健康課との連携 ○特定保健指導未利用者への対策の継続 ○積極的支援は、対象者の関心を高める新規指導プログラムを企画し実施 ○せと健康マイレージ事業の実施